

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 SIL 札幌日本語学校

1 事業の趣旨・目的

緊急時（地震・火事・事故・病気など）や生活の場において外国人生活者が困った時（冠婚葬祭・ゴミ問題・外国人登録・ライフラインなど）を想定し日本語指導ボランティアとして対応できるようにワークショップ形式の実践的な研修を行う

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
H22年5月22日	SIL札幌日本語学校	木本 みゆき 島 治美 外山 静江 Petia 佐々木 林 真知子	・講座開講の方針 ・実施内容・回数の検討日時、会場選定、募集方法検討 ・募集チラシ作成、募集日程、周知方法について	委託事業の実施に関して、後援者の選定、講座の方針、内容を検討確認、又会場選定や周知方法について討議。募集チラシにどのような項目を盛り込むか、どのような周知方法があるかなどについて検討。方向を定めた。
7月31日	SIL札幌日本語学校	木本 みゆき 島 治美 外山 静江 Petia 佐々木 林 真知子	・講座内容について詳しく検討 ・募集経過報告・講座内容・外部有識者講演依頼・講座について	講座内容の検討を重ねた。募集経過報告、開講までの作業項目について検討。外部有識者への講演依頼とその内容について話し合った。
10月3日	SIL札幌日本語学校	木本 みゆき 島 治美 外山 静江 Petia 佐々木 森地 優子	講座の予定についての再検討、及び実習内容などの検討	講座経過報告、及び模擬実習を行うにあたっての具体的な手順、指導留意事項を検討。併せて、アンケートの内容、作成日程などについて合意した。

12 月 5 日	SIL札幌日本語学校	木本 みゆき 島 治美 外山 静江 Petia 佐々木 森地 優子	・講座途中経過報告・ 模擬実習について	講座の進捗状況を確認し、模擬実習のための準備、アンケート内容、及び修了要件について検討した。
H23年1月15日	SIL札幌日本語学校	木本 みゆき 島 治美 外山 静江 Petia 佐々木 森地 優子	・アンケート・模擬実習・修了要件について ・講座についての評価、改善点などの検討	応募、参加者募集、全12回の講座内容など全般にわたる改善点に関して意見を交わした。アンケートを元にして、成果、反省点、この講座を生かして計画可能なことについて意見を述べ合い合意に至った。

3 養成講座の内容について

(1) 養成講座名「あわてないで教えよう」

(2) 養成講座の目標

道内に在住している外国人に生活者としての日本語・日本文化を指導するための基本的意識を持ち、緊急時の情報を題材に基本的指導スキル獲得を目指す。

(3) 受講者の総数 17 人

(出身・国籍別内訳 日本人17人)

(4) 開催時間数(回数) 36 時間 (12 回)

(5) 参加対象者の要件

市内・道内在住の退職者と日本語指導ボランティア希望者(日本語母語者・非母語者を問わない)

(6) 受講者の募集方法

道内各市町村への募集要項配布・市内公共施設にて 及び 市内、札幌近郊各大学国際交流センター、日本語ボランティアグループにも持参、もしくは郵送、ネットでの送信、配布

(7) 研修会場

札幌市民ホール、かでの27

(8) 使用した教材・リソース

平成21年度文化庁委託事業で当校が作成したボランティアのためのハンドブック、『みんなの日本語』、やさしい日本語など

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
10月2日 9:15～12:15	①日本語を教えるということ ②講演「ボランティア活動について」 ③日本語の文法（AはBです。）	SIL 札幌日本語学校講師 島 治美 札幌子供クラブ 三浦正博 にほんごボランティア「窓」 木本みゆき	11人
10月9日 17:15～ 20:15	①外国人教師による外国語の体験授業 ②講演 「外国人生活者として困ったこと」 ③フィードバック	北海道大学工学部客員教員 佐々木 ペティア 木本 みゆき 日本語ボランティア 「たんぽぽ」 外山静江	11人
10月16日 9:00 ～ 12:00	緊急時の対処の仕方を考える ②□救急医療・火事 ②日本語の文法（ます形・て形）	木本 みゆき 塾講師 林 真知子	15人
10月23日 9:15 ～ 12:15	講演 危機管理対策室出前講座 緊急時の対処の仕方を考える （地震・水害・避難） ① フィードバック ② 日本語の文法（ます形・て形）	木本 みゆき NPO ヤイ・夢・Asia 代表 鈴木 博子 札幌市危機管理対策室 出前講座担当者	14人
10月30日 9:15 ～ 12:15	講演 一日本語ボランティアの課題—日本人との付き合い方— （（財）札幌国際プラ	木本 みゆき 外山 静江 札幌国際プラザ 後藤道	13人

	ザ) ①□日本語の文法(辞書形)		
11月6日 9:15 ~ 12:15	生活の問題点 ①ー 郵便・銀行・電話・ 不在通知 日本語の文法 (ない形)	木本 みゆき 林 真知子	11人
11月13日 9:15 ~ 12:15	講演 ー事故と犯罪 について緊急時の対 処の仕方を考える ③ー事故犯罪・紛失 日本語の文法(ない 形)	島 治美 木本 みゆき 札幌中央警察署 生活安全課主任	13人
11月20日 9:15 ~ 12:15	生活の問題点 ②ー ごみ問題 日本語の文法 (た形) 前回の講演を聞いて フィードバック	島 治美 外山 静江	15人
11月27日 9:15 ~ 12:15	模擬実習(訪問・謝 辞・居酒屋での食事 のマナー)	木本 みゆき 島 治美	11人
12月4日 9:15 ~ 12:15	講演 ー国際結婚の 諸問題ー お礼の言葉 生活の問題点 ③ー 育児・教育 日本語の文法(普通 形)	うえるかむはうす マイレット神父 木本 みゆき 外山 静江	10人
12月11日 9:15 ~ 12:15	シンプルな日本語表 現 やさしい日本語の作 り方(災害時に使う 日本語)	木本 みゆき 林 真知子	8人

2月18日 9:15 ~ 12:15	模擬実習（お見舞・ 慰めの言葉）	木本 みゆき 島 治美	7人

（10）講座の評価

① 受講生に対するアンケート

* 日時、回数、開催場所: おおむね満足を得られた。

* ワークショップ形式の講座について: 一方的に理論を聞くより、さまざまな意見や捉え方を知ることができてよかった。又受講生同士知り合いになれ、情報交換もできた。

* 講演など: 特に外国人教師による直接法の授業が大変ためになった。その他の講演も回答者の7割が満足、やや満足であった。

* 講座内容: 日本語文法の基礎について、日本人との付き合い方、生活の問題点、緊急時の対処の仕方の順で好評であった。

② 実施主体からの研修内容結果評価

外国人生活者にとって困るであろう事項を受講者全員で検討し、その対処のための情報を確認し、及びどのような日本語を使用して伝えていくかなど全12回にわたり研修した。実習も二回ほど入れ、事前に説明等していたが、受講生には日本語を教えるということに対するイメージが全くつかめなかったようで、指示等が伝わっていなかった。

二回目の実習では、イメージがつかめたようで、外国人学生役の理解度もより高くなった。

（11）事業の成果

① 他事業との連携

日本語指導ボランティア希望の受講者は、今回は主婦の方が多かった。今後外国人のために何か手伝いをしたいという意思が強く、当講座で紹介した市内のボランティア団体に講座開講中にも参加を申し込みに行ったようである。

② 研修後の人材活用

手が足りないボランティア団体にて単なる言葉を教える意識のみならず、いざという時の積極的な安全確保などに関する活動をも繰り広げてもらえるだろうと思われる。

(12) 今後の課題

①主に市内のボランティア団体からの口コミでの参加が多かったが、教職退職者などの応募はなく、今後そのような方々の活躍を期待し、講座周知のためのルートを探さなければならない。一般的に各市町村の委託事業をされた団体は、どのようなルートを持っているのか、まとめた報告書があればいいと思う。

③ 北海道内、札幌市内の緊急時における外国人対策はまだほとんど確立されていない。ただ、今年度は札幌市内各区域のゴミ処理日程表英語版が配布され、大変便利になった。今後は他の言語も発行されるようなど、改善点も提案したい。